



和通小

# ニュースレター

NO.2



2019.5.28

新緑がまぶしい季節になりました。子どもたちも、新しい学年・学級に慣れ、教室の中は活気があふれています。

PTA総会(5/16)では、いじめ防止に係る本校の基本方針について説明させていただきました。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。また、その際「ニュースレターを読んでくださっていますか?」とお尋ねしたところ、多くの方が手を挙げてくださり、大変うれしかったです。いじめ防止の意識向上に少しでも役立っていると感じました。

さて、同日の1~2校時、滋賀県弁護士協会に弁護士を派遣していただき、5年生と6年生の教室でいじめ防止の授業をしていただきました。いじめが許されない理由や、いじめを見たときに自分ができることを学習しました。

ご都合がつかず参観されなかった保護者の方もおられるかと思っておりますので、少し紹介します。

- |              |   |
|--------------|---|
| いじめが許されない理由① | いじめは <b>最悪の結果</b> を招くこととなります。失われた人の命は <b>絶対に</b> 戻りません。 |
| いじめが許されない理由② | いじめは <b>犯罪</b> です。どのような <b>理由があっても</b> 許されません。          |
| いじめが許されない理由③ | いじめは <b>人権侵害</b> となります。どのような <b>理由があっても</b> 許されません。     |

4月生活目標  
「気持ちの良い挨拶をしよう!」  
自己評価  
**82%**

人の心には、苦しいことやしんどいこと悲しいことを受け止めるコップがあります。

悲しことがおこると、コップの水がたまっていきます。

時にはたくさん増えます。

あるときは、ほんの少し増えます。

ついに、コップのふちぎりぎりまで水がたまってしまいました。

たまったコップに、一滴の水がコップにおちると、

水はコップからあふれ出てしまいました。

心の中に、苦しいことや悲しいことがたまりすぎて受け止めきれずにあふれ出たとき・・・。

その子はどうなるかわかりますね。

もしかして、自分の一言が最後の一滴になるかもしれません。

人の受け止め方は様々です。同じことでも沢山水がたまる人もいれば少ししかたまらない人もいます。

そして、そのコップは人からは見えません。

友達のコップに水がたまらないように自分ができること

水がたまったときに出す方法

そして、何より、友達の心のコップに水をいれないように

そんなことを真剣に考えました。

今後も、発達段階に応じたゲストティーチャーを招き、様々な角度からいじめや人権について学んでいきたいと思っています。また、そのような授業を実施したときには、ぜひお家で話題にいただければ幸いです。



## スローガン総選挙開催

どの子にも居心地のよい和通小学校となるよう、生活委員会が中心となり、スローガンを募集しました。先日小選挙が行われ、厳選された6つの中から、「のほり」に書く2つを決定していきます。

どのスローガンに決まるでしょうか。どきどきです。

## ほっと一息

先日、登校した児童が教室まで上げられず階段下で立っていました。気になりながら職員室に荷物を置きその子の元に駆けつけると、その子は階段の上まで移動していました。6年生が声をかけ、励まし、教室へ連れて行くとしたのです。

6年生からバトンタッチして引き継ぎましたが、荷物を持ってあげるなど、最後まで心配そうに年下の児童を見守っている6年生の姿が印象的でした。